

開催報告

貧困・格差学習会

女性と子どもの教育 ～シングルマザー世帯の課題～

日時：2018年3月9日（金）
13:00～15:00
場所：東京都生協連会館 会議室
講師：宮本みち子氏
（放送大学副学長・教授）
参加人数：40名（事務局含む）
主催：東京都生協連
平和活動担当者連絡会

☆ プログラム ☆
13:00 開会・あいさつ
13:10 講演
14:30 グループワーク
14:45 まとめ・
アンケート記入
15:00 閉会



司会：原田久子
（東都生協）

講演：女性と子どもの教育 母子家庭・女性の貧困の実態から



講師：宮本みち子氏
（放送大学副学長）

昭和20・30年代や高度経済成長期と現代の状況は違うことを前提に考える。
日本の貧困率 2015年：13.9% 先進国のなかではアメリカに次いで高い。

誰が貧困か？貧困率で見ると

- 男女比で見ると、25～60歳の勤労世帯は大差なし
65歳以上だと女性が男性より5～10%高い
- 高齢者の貧困率は20～30%
- 高齢夫婦は20%、**高齢単身女性は50%強**
- 勤労世代は単身者の貧困率が高い
- 母子世帯の貧困率は60%**



子どもの貧困がなぜ問題になるのか

- 貧困による負の影響は生涯続く
- 不況の影響を真っ先に受ける
- 学業成績の悪化
- 仕事に就くための力の低さ
- 自立の困難
- 家族形成の困難・家族崩壊に至りやすい
- 社会的疎外感の増大

母子世帯の現状

- 親の貧困を解決しないと子どもの貧困は解決しない。



女性に対する支配構造がある

- 下層化する女性はさまざまな暴力に晒されている。
- 複合的な問題を抱える家族関係からの自立は困難。
- 不安定な雇用
- 解決には労働者としての女性の地位の改善が必要。**

子どもへの支援

- 子ども食堂の広がり
- 子どもの学習支援の取り組み
- 青少年施設での支援
- 首都圏で生協組織を中心とした支援団体を立ち上げ

【首都圏若者サポートネットワーク】

パルシステム連合会、生活クラブ連合会、若者支援団体等が参加して「子ども・若者未来基金」を立ち上げた。千葉では今年度から支援開始。

人を大事にする社会に移行してきている。

〈アンケートより抜粋〉

- ・厳しい現状を知り自分の身の上も含めて、いろいろ考えさせられました。
- ・講演の内容と自分の人生が重なり、涙が出て途中から聞くのが辛かったけど、先生の存在が大変力強く感じられました。先生の書籍や今日の講演をとおして何ができるかを考えてみたいと思いました。
- ・見えない貧困が多様化しているので、現代の状況をわかっている人が少なすぎる。生協に加入していても利用することもできない家庭も多いことを知ってほしい。